

# サウンド パフォーマンス・ プラットフォーム 2018

## 知覚の解放体験

愛知県芸術劇場では、「サウンドパフォーマンス」という広い視点から、通常のコンサートなどではこぼれ落ちてしまうような音楽作品から、台詞やダンスを伴う作品も含めて、未発掘のアーティストのチャレンジを応援する「サウンドパフォーマンス・プラットフォーム」を開催しています。ゲストアーティストに加えて、多様なサウンドパフォーマンスを一挙に紹介するこの公演に出演していただくパフォーマーを募集します。

### 出演者募集！

2018 2 / 10 (土) 17:00 ・ 2 / 12 (月・休) 15:00

会場：愛知県芸術劇場小ホール  
(愛知芸術文化センター地下1階)

荒木優光



photo by Shunsuke Kano

ゲストアーティスト



photo by 小山田邦哉

堀尾寛太

米子匡司



photo by 松本美枝子



photo by Yutaka Endo (Luftzug)

サンガツ

主催・お問合せ

愛知県芸術劇場

052-971-5609 ws4@aaf.or.jp



「サウンドパフォーマンス・プラットフォーム」は「AACサウンドパフォーマンス道場」(2006-2014)を前身として、2015年から始まり、この度で3回目の開催となります。今回は「知覚の解放体験」というテーマを設け、劇場での鑑賞の仕方にも踏み込んだ、より多様なパフォーマンスへのチャレンジを期待します。そしてこのプラットフォームでの衝撃が、新しいアウトプットへとつながることを望みます。

## 募集要項

### (1) 募集するパフォーマンス (質問・ご相談はお問合せメールアドレスまでお送りください)

①音を用いたパフォーマンスであること(インスタレーションのみは不可)。音が作品の重要な要素であること、「人間の身体」が登場する、いわゆるパフォーマンスであることの2点を満たせば、どんな形でも応募可能とします。

②テーマ:「知覚の解放体験」

ここでしか見られないものを見る、ここでしか聞こえない音を聞く。着席して聴く/観るだけでなく自ら体験を選ぶ。そんな体験ができるパフォーマンスを期待します。また、驚き・発見・楽しさ・オリジナリティなどのどれかが感じられる、音と身体に関わる新しい表現を期待します。

③作品を上演する場所は小ホール内外とし、鑑賞の方法は客席に着席するほか、入退場に伴って立ち止まって行うなども可能とします。作品の一部として合わせて考えてください。

④作品の上演時間は20分までとします。設営・撤収はおおよそ各10分程度です。

⑤1日3作品程度、2日間で6作品程度の上演を予定しています。

⑥上演に際し支障をきたさない内容であること。出演者がプライバシー権、名誉権を侵害していないこと。また、出演者が、第三者の有する著作権、肖像権、商標権、意匠権、パブリシティ権などの権利(映像、写真、グラフィック、音楽、文章、デザイン、文字など)を侵害するおそれがある場合は、出演者の責任において必要な許可を得た上で、そのことを出演時に申し出ること。万一、第三者から権利侵害等の苦情、異議申し立て、提訴などがなされた場合、主催者側に発生した損害を含め、出演者自身の費用と責任において対応すること。

### (2) 会場および会場に係る条件等

公演会場:愛知県芸術劇場小ホール内、および外(客席あり、なし)

小ホール内の舞台はエンドステージを予定しています。小ホール外は、組み立て場・廊下・ロビー等を想定しており、審査の結果、応募とは異なる場所・鑑賞方法での上演をお願いする場合があります。

### その他

①小ホール備品である基本的な舞台機材は自由に使えます。基本的な舞台スタッフ(舞台監督、照明、音響。映像スタッフは含まれません。)は主催者で手配・負担します。

②出演料、制作費、運搬・交通費、上記①以外の機材・スタッフ等は各出演者でご負担ください。

③会場の下見日として1月13日(土)・14日(日)を予定しています。都合がつかない場合は他の日程も可能です。出演決定後に調整します。

④リハーサルは、2月10日(土)・12日(月・休)それぞれ出演日の前日を予定していますが、出演決定後に調整します。

### (3) 応募方法・宛先

→①②をメールに添付し、③をメール本文に記入の上、送付してください。

#### ① エントリーシート

(愛知県芸術劇場「サウンドパフォーマンス・プラットフォーム2018」ウェブサイトからダウンロードしてください)

#### ② 作品内容が分かる企画書(A4用紙2枚程度)

#### ③ 作品内容が分かる映像資料のURL

(YouTube等にアップロードしてください。複数可。合計30分程度。)

✉ ws4@aaf.or.jp

【件名】愛知県芸術劇場「サウンドパフォーマンス・プラットフォーム」応募

※ご記入いただいた個人情報は愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)にて厳重に管理し、本事業を運営するために使用し、それ以外に使用しません。

### (4) 締切

2017年10月10日(火) 必着

### (5) 審査員 新しい動きにいち早く着目しディレクションを行っているイベントスペースの企画担当者および愛知県芸術劇場プロデューサーほか

- ・新見永治(パルル)
- ・猫町(spazio rita)
- ・野口順哉(外/空間現代)
- ・森田太朗(K.D japon / 喫茶モノコト)
- ・藤井明子(愛知県芸術劇場プロデューサー) ほか

### (6) 審査方法等

- 「(1)募集するパフォーマンス」の①-⑥の観点から、書類および映像により選考します。
- 審査結果は、2017年10月下旬までに代表者あてにメールでお知らせします。

### (#) エントリーシートのダウンロード

[http://www.aac.pref.aichi.jp/gekijyo/syusai2017/detail/180210\\_spp2018/](http://www.aac.pref.aichi.jp/gekijyo/syusai2017/detail/180210_spp2018/)



主催・お問合せ | 愛知県芸術劇場  
052-971-5609 ws4@aaf.or.jp

助成:平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

